

Q&A 1 ふんわりホイップが、カラー剤の新しいカタチに。dyeble

Q 使えるカラー剤の最大容量はどれくらいですか？

A 最大容量（1剤と2剤の合計）は、次の通りです。
小カップ（S）：80g / 大カップ（M）：250g

Q 空気を含ませながら攪拌することによって、酸化（酸化重合）を進めてしまわないか？

A 空気を含ませながら攪拌することによって、酸化（酸化重合）が進むのではないかというご質問についてですが、蓋をした状態で攪拌しているため、カラー剤はカップ内に存在する限られた酸素としか接触せず、酸化の影響は最小限に抑えられます。また、使用サロンからもカラーの発色に問題がないとの評価をいただいています。

Q カラー剤をホイップ化してカラーの染まりに影響はでないか？

A ホイップ化してもカラーの染まりに影響はなく、実際にdyebleを使用しているサロン様からも従来の手混ぜ時と変わらず発色、染まりに「問題なし」との評価をいただいています。

Q なぜコスト削減につながるのか？

A カラー剤をホイップ状にすることで体積が増え、使用量を抑えることが可能になります。カラー剤の種類によって異なりますが、手動で混ぜた場合と同じ体積を約半分の量で作ることができるため、結果的にカラー剤の使用量を削減できます。このホイップ化により、塗布時の伸びが良くなり、液だれもしにくくなるため、効率的に作業を進めることができます。これにより、材料費の負担が軽減され、全体的なコストダウンにつながります。

Q カラー剤によってホイップ感に差は出るのか？

A 1剤の粘性によって、ホイップの仕上がりには差が出る傾向があります。傾向として、1剤が柔らかいほどホイップ感は強くなり、逆に粘性が高くて固いほどホイップ感は弱くなります。

Q ブリーチ剤にも使えますか？

A ブリーチ剤にも使用できます。
ただし、ブリーチ剤（1剤）とオキシ（2剤）のメーカーの組み合わせによって、混ぜりの均一性（※パウダー残り等）に差が出る場合がありますので、その点にご注意ください。

Q&A 2 ふんわりホイップが、カラー剤の新しいカタチに。dyeble

Q どのくらい使用するカラー剤の量を減らせるのか？

A カラー剤の使用量についてですが、最大で約50%の使用量を削減することが可能です。これは、カラー剤の種類や粘性によって異なる場合がありますが、一般的にはホイップ化により体積が増え、少ない量で同じ効果を得ることができるためです。
また実際サロン様から、白髪染めのリタッチで、従来では1剤60gのところをdyeble使用で40gで済むことができたという声もいただいています。

Q 作業の効率化はどういったことが可能になるのか？

A 作業の効率化については、主に以下の2つの点が挙げられます。
1. 操作性の向上：ホイップ状のカラー剤は、伸びやすく、塗布がしやすいため、作業がスムーズに進みます。また、液だれしにくい特性もあり、これにより作業の効率が向上します。
2. 自動攪拌機能：自動で攪拌できるため、攪拌中に他の作業や工程に対応することが可能になります。これにより時間を有効に使うことができ、業務の効率化が図れます。

Q 操作性が高まるとはどういうことか？

A 主に以下の3つの特徴によって実現されます。
1. カラー剤が伸びやすい：ホイップ状のカラー剤は、塗布時に滑らかに広がるため、均一に塗りやすくなります。
2. 塗布がしやすい：塗布作業がスムーズに進むことで、作業効率が向上します。
3. 液だれしにくい：液だれが少ないため、狙った位置にとどまり、オーバーラップのリスクなども抑えられます。
これらの特徴により全体的な作業効率が向上し、時間の節約にもつながります。

Q 他に作業の効率化を図れることはあるか？

A 作業の効率化について、以下のような声をいただいています。
1. 同時進行の作業：攪拌中にカラー剤の前処理を行えるようになった、またお客様へのカラー施術の準備やご自身のエプロン・手袋の装着、カルテの記入など2つの作業を同時に進めることができるようになります。
2. カラー工程の時短: ホイップ状のカラー剤は、すすぎ時に流れやすく、カラー後のシャンプー時間が短くなった。という声があり、カラー施術工程の効率化、時短が図れるようになります。

Q 対応できるカラー剤の粘度に制限はありますか？

A ほとんどのカラー剤の粘度に対応していますが、極端に高粘度のものについては確認が必要となります。一般的な粘度のカラー剤であれば問題なく使用できます。

Q&A 3 ふんわりホイップが、カラー剤の新しいカタチに。dyeble

Q ホイップされたカラー剤は時間が立つと剤がダレたり、液状化したりするのか？

A ホイップされたカラー剤についてですが、時間が経過しても剤がダレたり液状化したりしにくく、塗布中も扱いやすい状態が続きます。ただし、1剤と2剤を混ぜた後は化学反応が始まるため、攪拌後は早めに塗布することが推奨されています。

Q 対応できるカラー剤の粘度に制限はありますか？

A ほとんどのカラー剤の粘度に対応していますが、極端に高粘度のものについては確認が必要となります。一般的な粘度のカラー剤であれば問題なく使用できます。

Q ヘアカラー以外の製品（パーマ剤など）には使えますか？

A ホイップ化はヘアカラー剤を想定した機能となっておりますが、剤を均一に攪拌する目的であれば、ヘアカラー以外の製品でもご使用いただける場合があります。ご使用の薬剤の性質や粘度によっては、攪拌の効果に差が出る可能性もありますので、実際の使用前にお試しいただくことをおすすめいたします。

Q ミキシングにかかる時間はどれくらいですか？

A ミキシングにかかる時間について、カラー剤の総量によりますが、小カップ（S）と大カップ（M）の両方で120秒の攪拌タイムを推奨しています。また追加の攪拌タイムを設けることで、よりホイップ化が促進されるため、好みのホイップ感に合わせて攪拌タイムを調整することができます。

Q カラー剤の飛び散りはありませんか？液だれやこぼれの心配はありますか？

A 攪拌は蓋を閉めた状態で行うため、カラー剤の飛び散りや液だれ、こぼれる心配はありません。また、本体の凸部とカップの凹部が正しくセットされていない場合は作動しない設計になっており、安全性にも配慮しています。

Q 動作中に蓋を開けるとどうなりますか？

A 蓋が開いた状態では作動しない設計になっており、動作中に蓋が外れると自動的に停止します。本体の凸部とカップの凹部が正しくセットされていない場合も作動しないため、万が一蓋が開いても安心の設計となっています。

Q&A 4 ふんわりホイップが、カラー剤の新しいカタチに。dyeble

Q 清掃やメンテナンスはどれくらいの頻度で必要ですか？

A カップとマドラーは使用後に毎回洗浄してください。機器本体は、水で湿らせて固く絞った布で表面の汚れを拭き取ります。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませたスポンジや布で拭き取ってください。

Q 保証期間はどれくらいですか？

A お買い上げ日より1年間となります。

Q どのような形で納品されますか？

A 導入セットは商品箱（縦29cm／横40cm／高さ15cm：合計84cmのサイズ）に梱包された形での納品となります。

Q 機械が止まったときのトラブル対応方法は？

A トラブルが発生した場合、取扱説明書に記載の「故障かな？と思ったときは」をご確認いただき、処置後も異常がある場合は、電源コードを抜いてご使用をやめ、購入店またはMUKお客様相談窓口にご連絡ください。

Q 故障時の修理対応はどのようにになりますか？

A 本製品は、修理対応を行っていない製品となっております。そのため、万が一の不具合に備えご購入から1年間の保証期間を設けており、期間内に故障が確認された場合は、無償での製品交換にて対応させていただきます。なお、保証期間（1年）を経過したあとの故障につきましては、恐れ入りますが新たにご購入をご検討いただく形となりますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

Q 廃棄時の対応について教えてください。

A 廃棄する際は、各自治体の処理方法に従って廃棄してください。地域によっては、材質別の分別が必要な場合もありますので、自治体のルールを確認することをおすすめします。

カラーに、革新というスパイスを。